

2012 年度

事業報告書

特定非営利活動法人ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト

1 年間報告（2012 年 4 月～2013 年 3 月）

今年度は、日本経団連自然保護基金の助成金の 3 年目となり、平成 22 年度 23 年度同様に、サバル森林保護地区での 50ha 達成を目指す事が出来た。現地地の先住民族も、効率的な作業で、平成 24 年度合計 51.60ha の植林が達成でき、3 年間の植林で、合計 152.85 ha が出来ました。

各回の植林で、時間的な余裕があった場合には、率先し、既に植えた場所の、草刈りなどの維持活動に割り当てる事が出来た。先住民族の日常の生活である農耕や果物の季節は、活動を行えないが、本年度は、その活動と、日常の生活が上手く共存出来、無理の無い作業が行えた。

今年より、サバル森林保護地区の新しい地域で植林を行いました。平成 25 年以降の足掛りとなるように、アグロフォレストリー等の講習を行い、コミュニティフォレストリーや、植林地の永続的な利用法などを再検討出来たと思われる。

2 詳細

1) サラワク州森林局の担当者との年度計画の打ち合わせ

日時・場所： 2012 年 5 月 4 日 サラワク州森林局植林部会議室
出席者： Mr. Hii Tok Peng（サラワク州森林局植林部部长）,
Mr. Johin Ak Ngayop（サラワク州森林局植林部副部长）
Mr. Jonathan Lat（サラワク州森林局植林部）
酒井和枝（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長）
鍋嶋誠一郎（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長） 延べ 5 名
内容： 昨年と同じく植林活動の体制と、サラワク州森林局の協力内容の確認、植林活動の問題点や課題に関する打ち合わせ。

2) サバル森林保護地区近隣の先住民族との打ち合わせ

日時・場所： 2012 年 5 月 7 日 サバル森林保護地区内事務所にて。
出席者： Mr. Jonathan Lat（サラワク州森林局植林部）
酒井和枝（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長）
鍋嶋誠一郎（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長）
Mr. Ekin Empati 他村人 10 名 延べ 13 名
内容： 年間計画における植林の日程や人員動員に関する打ち合わせ。効率の良い時期の設定、先住民族の農耕作業との兼ね合いができる日程等の打ち合わせ。

3) サバル森林保護地区第1回植林

第1回の場所は、熱帯特有の *Shorea Macrophylla* の樹種を選び、先住民族10名で10日間の作業を行いました。6月1日は先住民族の収穫祭に当たり、その準備期間を考慮した日程。

- ・日時、場所 2012年5月17日～5月26日 サバル森林保護地区
2,126本 (5.30 ha)
樹種: *Shorea Macrophylla*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)
先住民族10名 他

4) 2012年度 東京羽田ロータリークラブ 第4回

東京羽田ロータリークラブの植林は、今回の第4回で最終回となり、計8ha (3200本)が終了しましたが、来年以降も継続して頂く事を約束して頂きました。今回も、近隣小学生20名を招待しての植林を行いました。

- ・日時、場所 2012年6月7日～6月16日 サバル森林保護地区
800本 (2.00 ha)
樹種: *Shorea Macrophylla*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)
先住民族10名
SK Talagus / Jelok 小学校 小学生20名様/引率教員2名

5) 2012年度 ジョホールバル日本人学校植林

今回で2回目となる、ジョホールバル日本人学校の小学5年生と6年生の28名と、4名の引率教員による植林活動を行いました。今年は、列に沿って植えていくライン植林ではなく、アイランド植林と呼ばれる、特定の場所に纏めて植えて、苗木に成長の競争をさせるという、自然下と同様な状況で育成を行う方法を試みてみました。

- ・日時、場所 2012年6月18日～6月20日 ラユ森林保護地区
100本
樹種: *Shorea Macrophylla*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)
先住民族5名

6) サバル森林保護地区第2回植林

この第2回をもう少し早く出来ると、その後が順調なのですが、今年は、6~7月の早い乾季のために、結局、この時期となり、今後、この第2回をもう少し早くする事が出来ないか課題が残りました。また、今年の50haの地域は、丘陵地が多いため、例年より、最初の整地に少し時間が掛かる為、今後、余裕を持った作業を行わなければならないとの反省が出ました。

- ・日時、場所 2012年7月24日~8月2日 サバル森林保護地区
2,680本(6.70ha)
樹種: *Shorea Macrophylla*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)
先住民族10名 他

7) サバル森林保護地区第3回植林 + 立教大学観光学部植林(グループ1)

立教大学観光学部の植林を終えて、数日間の休暇を挟んで、第3回との予定をしておりましたが、作業員の先住民族より、田植えの時期を9月中旬~後半にしたいとの事で、急遽、延長をして、休暇を挟まず、20日間の植林を行いました。今回の場所は、今年度予定の50haの植林地の中でも、一番、丘陵地が多く、整地が非常に大変でした。

- ・日時、場所 2012年8月18日~9月6日 サバル森林保護地区
5,520本(13.80ha)
樹種: *Shorea Macrophylla*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)
先住民族10名 他

8) サバル森林保護地区第4回植林 + 立教大学 観光学部(グループ2)

第4回は、先住民族の田植えの以降、もう少し早い時期に始めたかったが、雨が多く、結果、10月後半の開始となりましたが、11月4日の立教大学観光学部のグループ2を挟んでの15日間の作業となりました。立教大学観光学部のこの植林は、前回同様の作業を行いました、大学1年生の早期体験学習の一環となります。

- ・日時、場所 2012年10月21日~11月4日 サバル森林保護地区
3820本(9.5ha)
樹種: *Dryobalanops beccarii*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)
先住民族10名 他

9) サバル森林保護地区第5回植林

11月の後半より作業を行う予定でしたが、今年は、果物の豊作年で、果実の収穫などで、先住民族の方々の都合が付き、12月になってからの植林となりました。雨季の割には、比較的天候に恵まれ、順調に作業が行われました。

- ・日時、場所 2012年12月10日～12月21日 サバル森林保護地区
2200本 (5.5 ha)
樹種 : *Shorea Macrophylla*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)
先住民族 10名 他

10) サバル森林保護地区 苗木作成、及び、アグロフォレストリー講習

今年は、大量に、植林用の樹種が結実し、種子の採集が出来ました。近隣の森林で確保して、苗木作成の作業を行いました。5年に1度しかならない、*Shorea Macrophylla*の種子も大量に確保できました。この期間で、25000本の苗木を作成できました。雨季で植林作業の出来ない好例のアグロフォレストリー講習、苗木育成講習も合わせて行い、2013年度4月からは、ここサバル森林保護地区内の敷地外の、彼ら先住民族の所有の利用されていない二次林にて推進しようとしているコミュニティ・フォレストリーの足掛りになるべく、サラワク州森林局植林部のMr. Jonathan Lat氏が、先住民族の人々に、養蜂、果樹、鹿の飼育などの概略を指導をしました。

- ・日時、場所 2013年1月7日～1月23日 サバル森林保護地区
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)
先住民族 10名 他

11) サバル森林保護地区第6回植林、及び、経団連自然保護協議会植林

2010年度より助成して頂いている経団連環境保護基金の協議会の役員の方々が2月9日に、サバル森林保護地区に訪問され、活動の視察や植林活動にご参加されました。

- ・日時、場所 2013年1月30日～2月9日 サバル森林保護地区
1440本 (3.6 ha)
樹種 : *Dryobalanops beccarii*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)
先住民族 10名 他

12) サバル森林保護地区第7回植林、及び、エコプロダクツ2012の森、あいち生活協同組合協力会

エコプロダクツ2012の際に、キャンペーンご参加、ご寄付頂いた植林のエコプロダクツの森2012、及び、あいち生活協同組合協力会の2011年度、2012年度の植林を行いました。

・日時、場所 2013年3月18日～3月27日 サバル森林保護地区

1680本(4.2ha)

樹種: *Shorea Macrophylla*

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)

先住民族10名 他

13) サバル森林保護地区 苗作りと苗育成作業 4～3月

サバル森林保護地区の事務所の苗畑センターにて、定期的に苗作りと苗の育成を先住民族の人々に手伝ってもらっています。週に1回、定期的に植林に関わる人々から数人ずつで、苗畑センターにてポット苗作り、水掛け、肥料やり等の作業をします。今後共、苗木作りを促進したいと思います。

日時、場所 2012年4月～2013年3月 サバル森林保護地区の事務所の苗畑センター

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)

先住民族10名

以上